

関空島

4月号
2023年

WEATHER REPORT

ご利用の前に
かんくうじまウエザーレポート
関空島 WEATHER REPORTの内容には、航空気象で利用する用語や、観測で使用する機器及びその設置場所等の略語がでできます。これらの解説を巻末に掲載していますので適宜ご利用ください。

関空島の3月の気象

天気概況

中旬から下旬にかけては前線や湿った空気の影響で雨の日が多くなりましたが、その他の期間は高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。

上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、期間の始めは前線や湿った空気の影響で雨の日もありました。

中旬：高気圧に覆われ晴れの日が多くなりましたが、湿った空気や前線の影響で雨の降る日もありました。

下旬：天気は数日の周期で変わりました。低気圧や前線の影響で雨となった日がありました。

特徴的な日

1日から2日にかけては寒冷前線の通過や寒気の影響で雨が降りました。1日はVISが1900mまで悪化し、また、大気の状態が不安定となったため、雷を観測しました。

9日は気圧の谷や湿った空気の影響で、VISが4500mまで悪化しました。

13日は寒冷前線の通過に伴い雨が降り、VISが1200mまで悪化しました。最大風速37ktの西の風、最大瞬間風速44ktの西の風を観測しました。また、大気の状態が不安定となったため、雷を観測しました。

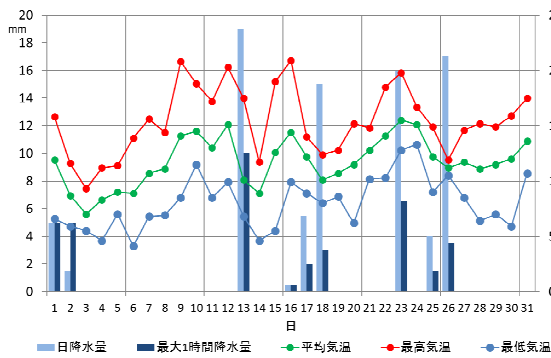
18日は日本の南海上を北東進する低気圧の影響で雨が降り、CIGが500ftまで低下しました。

22日は気圧の谷や湿った空気の影響で、VISが4500mまで悪化しました。

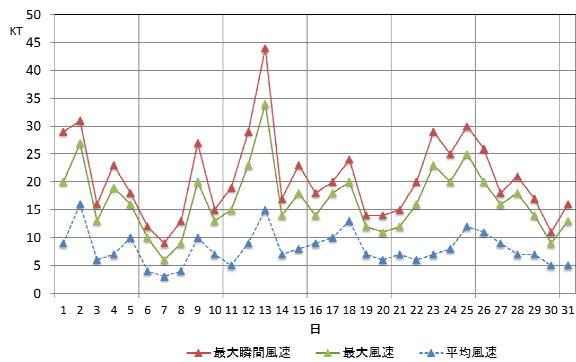
23日は低気圧や前線の影響で雨が降り、VISが4000mまで悪化し、CIGが1000ftまで低下しました。

26日は日本の南海上を東進する低気圧の影響で雨が降り、VISが3600mまで悪化し、CIGが500ftまで低下しました。

《気温》月平均気温は11.7℃（平年9.5℃、3月の高い方から1位を更新）でした。日最高気温は、16日が最も高く20.9℃（3月の高い方から1位を更新）を観測しました。日最低気温は、6日が最も低く4.1℃を観測しました。日最低気温が高いのは24日で13.3℃（3月の最低気温の高い方から3位を更新）でした。（第1図）。



第1図 2023年3月の日別気温・降水量

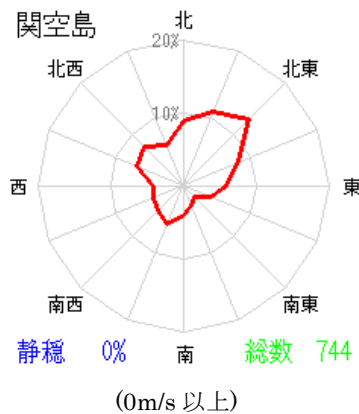


第2図 2023年3月の日別風速

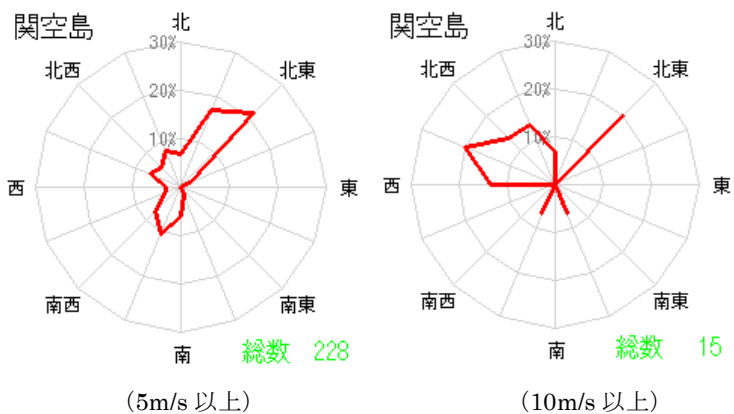
《降水量》月降水量は83.5mm（平年90.2mm）でした。日降水量の最大は13日に19.0mmを観測しました。1時間降水量の最大は13日に10.0mmを観測しました。10分間降水量の最大は13日に4.0mmを観測しました（第1図）。

《風》日最大風速が15kt以上の日数が18日、そのうち20kt以上の日数が10日でした。日最大風速の最大は13日の西の風34kt（3月の8位を更新）、日最大瞬間風速の最大は13日の西の風44kt（3月の7位を更新）でした（第2図）。

《風配図》10分間平均風向風速を1時間毎に風向及び風速別で集計し、各方位の頻度を表した図です。月全体では北東の風が多くなっています（第3図）。風速階級別では、5m/s以上（約10kt以上）は北東、10m/s以上（約20kt以上）は北東と西北西の風を多く観測しています（第4図）。



第3図 3月の風配図



第4図 3月の風速階級別風配図

《極値・順位値の更新》3月の極値と順位値の更新状況を第1表に示します。表において、橙色のセルが今月の順位値を更新した記録です。

第1表 関空島の3月の極値

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
日最高気温の高い方から (°C)	20.9 (2023/3/16)	20.8 (2023/3/9)	20.7 (2015/3/31)	20.7 (2009/3/19)	20.6 (2018/3/29)	20.4 (2022/3/16)	20.3 (2023/3/12)	20.3 (2016/3/7)	20.2 (2022/3/26)	20.2 (2019/3/21)
日最低気温の高い方から (°C)	14.6 (2020/3/27)	13.5 (2007/3/29)	13.3 (2023/3/24)	13.2 (2021/3/28)	13.2 (2019/3/21)	12.9 (2013/3/18)	12.8 (2023/3/23)	12.5 (2022/3/26)	12.4 (2014/3/30)	12.3 (2009/3/22)
月平均気温の高い方から (°C)	11.7 (2023/3)	11.2 (2021/3)	11.1 (2020/3)	10.7 (2022/3)	10.7 (2019/3)	10.5 (2018/3)	10.2 (2016/3)	10.2 (2013/3)	10.0 (2008/3)	9.8 (2007/3)
日最大風速・風向 (m/s)	21.5 南 (2018/3/1)	21 南南西 (2007/3/30)	19.4 南南西 (2013/3/18)	19.2 南南西 (2010/3/21)	19.1 南 (2010/3/20)	18.3 西北西 (2020/3/20)	18 南 (2007/3/31)	17.5 西 (2023/3/13)	17.0 西北西 (2019/3/13)	17 西 (2005/3/24)
日最大瞬間風速・風向 (m/s)	30.3 南 (2018/3/1)	26.2 南 (2010/3/20)	25.2 南 (2010/3/21)	24.7 南南西 (2013/3/18)	23.7 北西 (2015/3/10)	23.1 南南西 (2014/3/30)	22.6 西 (2023/3/13)	22.6 西北西 (2020/3/20)	22.1 西北西 (2014/3/9)	22.1 南 (2009/3/22)

統計期間：2003年3月から、ただし日最大瞬間風速風向は2009年3月から。

なお、本レポートの文中及び極値表に用いている値は、特に断りがない限りアメダスによる統計処理を行った資料に基づき作成したものです。

—— 事務局からのお知らせ ——

< 関空島ウェザーレポートについて >

「関空島ウェザーレポート」についてのご意見・ご要望は、担当（藪内）のメールアドレス yabuuchi@met.kishou.go.jp まで、メールにてお願いします。

発行日：2023年4月27日
 発行元：関西航空地方気象台
 編集：航空気象懇談会事務局

関空島 WEATHER REPORT で使用する航空気象に関する用語の解説

1 気象観測施設の配置とデータ利用について

気象観測施設は、関空島の A-RWY(3500m)と B-RWY(4000m) 周辺に配置した屋外観測装置と、当台気象観測室(航空庁舎ペントハウス)に設置した気象観測報の作成、配信等の処理を行う屋内観測装置で構成する。

屋外観測装置からのデータは屋内観測装置に表示し、METAR-AUTO 報として 10 分毎に自動配信するとともに、屋上で行う目視による観測とあわせて航空観測気象報(METAR 報、SPECI 報)で配信する。

また、日本時間の 23 時 00 分～翌日 05 時 59 分の間は、全要素とも自動観測・自動判別結果を用いた METAR/SPECI 報(以下「自動 METAR/SPECI 報」という。)を通報する。自動 METAR/SPECI 報で通報する視程や雲、現在天気は目視観測とは異なる特性・特徴を持っている。

航空観測気象報で通報する風は「06L」の観測値である。障害等で「06L」が使用できない時は「06R、24R、24L」の順に代用して通報し、RMK に使用した風向風速計名を記載する。(例: WIND BY EQPT/06R)

2 本文中で使用する語句の定義等

VIS: 全周を見渡して半分またはそれ以上の範囲で共通した視程(卓越視程)を(m)で表す。なお、自動通報時間帯については、RWY06L の滑走路視距離観測装置で自動観測した値である。

CIG: 雲量が 5/8 以上の雲層のうち、一番低い雲層の雲底の高さを(ft)で表す。

RVR: 滑走路視距離観測装置で観測した滑走路視距離を(m)で表す。

風: RWY06L に設置した観測装置の値(関西国際空港の代表風)を、風向を真方位(°)で風速を(kt)で表す。

風配図は、RWY 06L の、正時から 1 時間毎の 10 分間平均風を、月毎の風向別に百分率で表す。

Calm(静穏)は、10 分間平均風速の値が 0.4kt(0.2m/s)以下の場合をいう。

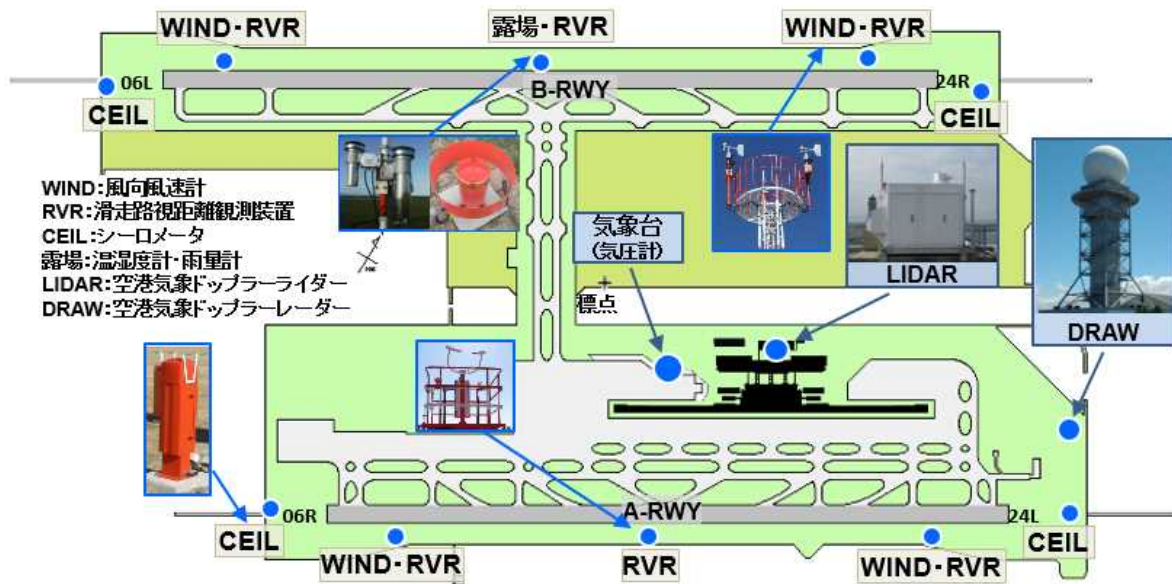
ガストは、平均風速を 10kt 以上上回る最大瞬間風速があった場合に報じられる。

ウィンドシアア: 鉛直方向又は水平方向の風速や風向の差をいう。ウィンドシアアのうち、観測された高度が 1600ft 以下(もしくは 1600ft をまたぐ高度)の場合は低層ウィンドシアアとする。

平年値: アメダスの関空島地域気象観測所として算出した平年値を使用している。

関空島の統計期間は、2003-2020 年

(ただし、日最大 10 分間降水量及び日最大瞬間風速は 2009 年から)。



関空島内の気象観測機器配置状況